

# 広島市立安佐市民病院広報紙

- 第3号 -

〒731-0293 広島市安佐北区可部南二丁目 1-1

TEL : 082-815-5211 (代)

<http://www.asa-hosp.city.hiroshima.jp>

# まめでが~んす

~ 今日も元気ですよ ~

笑顔があふれた

## 健康祭り



### 【皆さんと共に】

5月22日、五月晴れの安佐市民病院前駐車場は笑顔いっぱいの日になりました。安佐市民病院では地域の皆様と共に歩む市民病院として、日頃病院とは縁のない皆様に今一度健康について考える機会となりますよう健康祭りを企画しました。

地域の皆様とともに手作りの祭りを目指し、可部カラスの会、よがんす

### 【よるす健康相談】

可部、毘沙門台芸術村、ウイング、つくし工房、女性会、その他多くの皆様のご協力により、初めての試みにもかかわらず約500人の来訪者をお迎えすることができました。

よるす健康相談では看護師による健康チェック、お薬相談コーナーでは日頃使用している薬についてのご相談に多くの人が訪れました。

栄養相談コーナーでは輪投げゲームが行われ、さらに日頃の食事の糖分、脂肪、カロリーの多さに認識を新たにしました。



喫煙は百害あって一利なく、禁煙相談コーナーでは煙草の害と禁煙の導きなどビデオによる禁煙指導もおこなわれました。また、正しくできているつもりでも意外とできていないのが歯磨きです。歯科相談コーナーの歯周病予防と正しい歯磨き指導にはお年寄りから子供まで多くの方が訪れてくださいました。

新型の車椅子、ポータブルトイレなどの介護用品の展示では日頃理解しているつもりでの病院職員も改めて機能の豊富さを体験する事ができました。



リハビリ科の企画したサッカーとバスケットボールのシュートゲームにも参加者が多く、珍プレーに笑顔がはじけていました。

院内保育園の保育師さんによる育児相談コーナーでは親子が一緒になって遊ぶ微笑ましい光景がみられ、臨床検査室が企画した魚釣りゲームでは子供たちのはしゃぎ声が絶えませんでした。

さらに、「お医者さん看護師さんへ〜ん(変身)」の体験コーナーでは将来のお医者さん、看護師さんを夢見るチビっ子たちの変装が大変可愛らしく、プレゼントの記念写真贈呈にも喜んでいただく事ができました。

参加された子供さんたちのきらきら輝く笑顔を見、この子供たちの夢が叶うよう願わずにいられますでした。

**【救急車と心肺蘇生実演】**

この度の健康祭りの最大の目玉は救急隊による心肺蘇生、救命救急処置のデモンストラーションと参加者による実体験でした。チビっ子たちも真剣な眼差しで体験していました。

人工呼吸、心臓マッサージなどは日頃体験することはなく、救急車内の装備の展示も参加された皆さんにとっては非常に興味深いものでした。



**【ありがとうございました】**  
来訪者皆さんが参加して楽しむお祭りを目指し、スタンプを集めて最後にくじ引きで景品をゲットする健康スタンプラリーも非常に好評でした。

当日は台風一過で天候にも恵まれ、看護師長さんたちが配ってくれた冷たいお茶のなんと美味しかったことが。

地域の皆さんと病院職員が一つになって会場いっぱい笑顔があふれた一日、お天気の感謝とともに参加された皆さんに感謝いたします。ありがとうございました。



# 正しい抗癌治療とチーム医療

= 院内オンコロジーカンファレンスを

ご存じですか? =

外科部長 平林直樹

## 【抗癌剤と医療過誤】

抗がん剤投与にまつわる医療過誤の報告は連日の如く新聞紙上を賑わしています。何故こんな事が起こるのでしょうか？

理由は簡単です。抗がん剤を用いた治療法の専門家(腫瘍科あるいは化学療法科の医師)と化学療法に対する共通の知識、理解が足りないからです。

本当にそれだけなの？ それでは腫瘍科の医師って何処にいるの(本院では各疾患に関して治療医は化学療法法の専門家でもありますが)？ 答えは「日本には、まだ腫瘍内科医はいない(あるいはほんの数人しかない)」です。

それでは日常的に化学療法を行っている本院のような一般病院ではどうしたらいいのでしょうか？

この問題に答えるべく多岐山外科主任部長の提案もあり院内オンコロジー(腫瘍学)カンファレンスが外科を中心に昨年8月に立ち上げられました。

## 【オンコロジーカンファレンス】

対象は化学療法を行っている医師、外来患者さまに対して実際に抗がん剤投与を行う中央処置室の看護師、外科の病棟外来看護師、および薬剤師とし、化学療法に対する共通の認識、理解を少しずつ深める事を目的に月一回のカンファレンスを始めました。

今までの院内カンファレンスで取り上げられた内容と講師は以下の通りです。

1 当院における乳癌臨床試験  
久松外科部長

2 胃がんの治療の実際  
平林外科部長

3 外来化学療法に対する現状と問題点  
伊藤中央処置室  
看護主任

4 抗がん剤治療と臨床試験  
藤井薬剤部副部长

5 薬剤部における抗癌剤調製の実践  
柳田薬剤部副部长

6 外科外来における化学療法の実践と提案  
中野外来看護部長

これらのカンファレンスによりそれなりに化学療法に対する共通の認識が芽生えたのではないかと考えています。



さらに、それぞれの部門において、実際の業務がどの様に行われているかが分かり、患者さまが不快感を感じることなく化学療法を受ける上で、何が問題点であるかが浮き彫りにされてきました。

## 【変わりゆく抗癌剤治療】

今、この病院広報紙『まめでがくんす』を読まれている人の中で次のような方はいませんか？

化学療法は未だに意味の無い事と思っている人、抗がん剤の治療はゲロゲロ吐いて、髪が抜けて辛いものだと思っている人  
今日から認識を少し変えて下さい。

抗癌剤の治療は、治療効果を落とすことなく患者さまのQOL(生活の質)を保つために一部の癌を除いて入院中心の治療から外来治療に移り変わってきています。また、当院でもこの点を考慮し、本年5月に院内オンコロジーカンファレンスを発展的解消し、今中内科部長(血液内科)を中心に外来化学療法ワーキンググループが院内組織として設立されました。

今後は治療成績と患者さまのQOLが同時に評価されるシステム作りが検討される事と思います。さらに各疾患における治療成績が病院のホームページで公開される予定です。新たな院内組織としての外来化学療法ワーキンググループの今後の活動にご注目下さい。



## 「患者さまの満足度」は

## 医療の質の指標です！！



### 【はつめこ】

平成十五年十二月十五日から5日間かけて外来患者さまを対象に満足度調査をさせて頂きました。皆様のご協力により1659枚のアンケート用紙を回収する事が出来ました。

期間中には停電事故が発生し、患者さまには多大なご迷惑をおかけ致しました。しかし、その日のアンケート用紙には私ども職員に対し、心暖まる励ましのお言葉がよせられました。地域の皆様にご愛され、病院であることを再自覚し、「こころ強く感じました。」

今回の調査で、貴重なご意見を多数得ることができ、集計結果を出すことができました。

結果は総合相談室横に設置してあった掲示板で公表しましたので、すでにご覧になられた方もいらっしゃるかと思いますが、再度「ここに掲載し」、「医療の質の指標として患者さまの満足度」について考えてみたいと思います。



## アンケート集計結果

### 言葉使い

回答(人)	医師	看護師	受付事務	薬局	検査	放射線科	リハビリ	その他
良い	1029	978	854	292	358	250	168	132
普通	396	372	436	198	212	159	82	106
悪い	7	2	19	5	4	6	0	4
無回答	227	307	350	1164	1085	1244	1409	1417

### あいさつ

回答(人)	医師	看護師	受付事務	薬局	検査	放射線科	リハビリ	その他
良い	1007	990	853	321	390	267	179	138
普通	399	369	430	204	217	167	73	98
悪い	13	4	52	13	5	12	2	14
無回答	240	296	324	1121	1047	1213	1405	1409

### 態度

回答(人)	医師	看護師	受付事務	薬局	検査	放射線科	リハビリ	その他
良い	1004	945	799	285	363	239	165	137
普通	409	383	459	200	205	164	75	93
悪い	17	13	45	10	8	9	3	14
無回答	229	318	356	1164	1083	1247	1416	1415

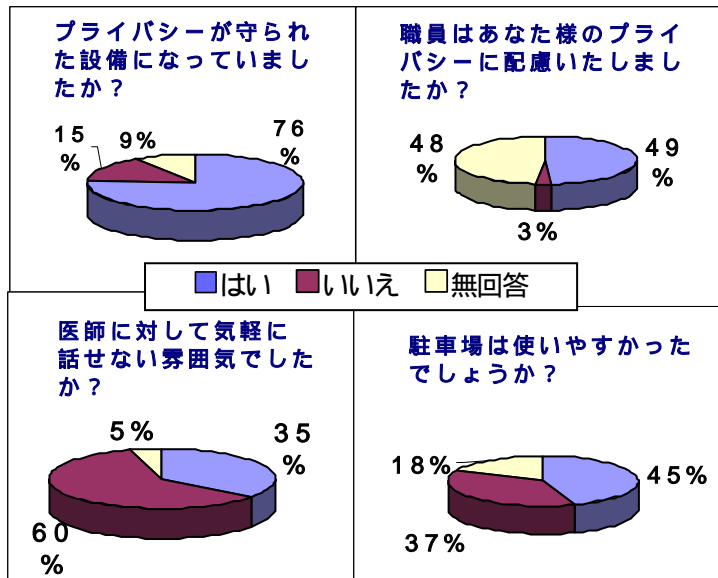
### 身だしなみ

回答(人)	医師	看護師	受付事務	薬局	検査	放射線科	リハビリ	その他
良い	1018	971	878	328	380	166	166	149
普通	393	360	413	186	196	76	76	97
悪い	7	5	6	0	1	2	2	6
無回答	241	323	362	1145	1082	1415	1415	1407

【患者さま中心の医療の実践】

従来からの報告では、患者さまの満足度で問題となるのは、感情的支援、患者教育、家族へのかかわり、ケアの継続とされています。この中でとくに、重要なのは「感情面の支援」です。いかに立派な施設や技術があっても、患者さま中心の医療を実践しなければまさに「仏つくって魂入れず」です。どうでしょうか？

当然、患者さまにわかる言葉で説明し、患者さまの言葉を傾聴し、その感情を理解し支援することが求められています。



【施設の改善】

これは、ただ単に一人ひとりの接遇の問題だと片付けるのではなく、良質の医療を提供するために、病院組織がいかなる価値観をもっているのか、「患者さま中心の文化」を育てているのかが問われているのです。安佐市民病院の組織文化は、いったいどのようなものとして患者さまにつけとめられているでしょうか？患者さまとの関係を含めたチーム医療における職場風土はどうでしょうか？

患者さまに選ばれる病院になるために、医療は誰のためのものを再考し、患者さまにわかりやすい良質な医療を病院全体で取り組んでいかなければならないといえます。

施設面では特に駐車場が狭い、トイレが汚い、不便である等の御意見を多数頂きました。この中でとくに外来患者さまのプライバシー確保に問題があると思われるのは中待合と診察室の問題です。待ち時間短縮のため中待合を設けているのですが、診察室との間の遮音が十分できていないためプライバシーが確保できない現状があります。この点は今、改善に向け取り組んでいます。

アンケート結果では無回答が多く見られ、それがなにを語っているのかですが、これはご批判の部分で

理念

- ・ 地域の基幹病院として高度の医療・ケアを行います。
- ・ 愛と誠の精神を持って医療を提供します。

基本方針

1. 患者さまの立場を尊重し、理解と納得にもとづいた医療を行います。
2. 安全な医療と快適な療養環境の提供に努めます。
3. 地域と連携し、地域医療、救急医療、トータルケアの水準の向上に努めます。
4. 最新の医療にとりくみ、医療・医学の進歩に貢献します。
5. より良い医療サービス提供のため、健全な病院運営に努めます。

安佐市民病院の  
理念と基本方針

あるとみて、職員は患者さまの御意見を真摯に受け止め、これからも、医療の質の向上に努力していくことが肝要だと思えます。アンケートにお答えいただいた皆様にあらかじめお礼申し上げます。

(文責) 富樫 渡部

# ★ 七夕

願いをこめて~



ちらし寿司  
精進揚げ  
七夕汁  
パインゼリー



792Kcal

## 【七夕物語】



昔、中国の漢水のほとりに、織女(しょくじょ)という機織りの上手な美女が住んでいました。この娘は父君の自慢の娘でした。そうするうちに、娘が年頃にもなったので父王は、この娘に農耕に熱心な牽牛という青年が似合いと考え、婿に迎えてやりました。ところが、それからというもの、織女はあれほど好き好んでいた技芸をおろそかにし、肝心の機織りも怠けるようになりまし。父王が注意をしてみても一向に効き目がなく改めようとせず、見かねた父王が牽牛を織女から引き離し、漢水の対岸に追放してしまいました。織女は毎日泣き続けるばかりで、あまりにも可愛そうなので、年に一度、旧暦七月七日の夕だけ、逢いに来ることを許しました。その日が来ると、牽牛は漢水を渡って織女に逢いに来まし。その時には、鵲(かささぎ)が群がり集まってきて、牽牛の橋渡しをやったということです。



当院では、毎年七月七日に七夕献立のイベントメニューをしております。患者様からは、入院していると季節感を忘れてしまいがちになりますという言葉をよく耳にしますこのことから、少しでも入院中に季節を感じられるように、病棟では笹を飾り、患者さま一人一人が短冊に願いごとを書いて笹につるしています。栄養室では、食事に願いをこめて患者様に美味しく食べて頂けるよう、メッセージカードを添えて提供させて頂いております。上記の写真は、今年の献立です。ちらし寿司、精進揚げ、七夕汁、パインゼリーです。ポイントとしては、七夕汁を天の川と織姫、彦星に見立てています。今年も患者様に喜ばれるメニューを提供しようと考えております。



(栄養室)



## <カササギ>



カラス科の雑食性。国内で代表的なハシブト・ハシボソガラスよりひと回り小さく、尾はやや長い。1~6月の繁殖期には、つがいで行動し縄張り意識が強い。若鳥は雑木林などをねぐらに群れで生活するが、10羽以上になることはない。

